埼玉県内金融機関の取り組み

埼玉りそな銀行

籠原支店新築移転オープニングセレモニー

進化型のＡＴＭ導入

埼玉りそな銀行は11月10日に籠原支店を新築移転した。最大の特徴は顧客が進化型のＡＴＭ画面を社員と共同で操作することにより伝票記入が不要となる窓口システム「クイックナビ」を全面的に導入し、ペーパーレス取引を拡大した点にある。これに伴う事務削減により、社員は顧客サービスやセールスに時間を使えるので「顧客接点の拡大につながる」（池田一義社長）。既存店へ順次拡大する計画だ。

休日営業も定着しつつある。4月にスタートした土・日・祝日も住宅資金や保険の相談・契約ができる「セブンデイズプラザおおみや」では、現役世代の20―50代を中心に一日当たり平均16組が予約来店するなど成果は上がってきている。

県内に18ある住宅ローンご相談プラザでも今後、土日の営業を拡大する予定。サービス業として今以上に顧客の利便性向上を進める構えだ。

武蔵野銀行

9月4日に秩父地域振興センターで開催した「未来創造〝官民連携〟勉強会」

官民連携で課題解決

武蔵野銀行は「地域の皆さまから一番に選ばれる銀行」を目指し、さまざまな取り組みを行っている。人口減少、消滅自治体などの課題解決に向けた官民連携を進めている。市町村が有する公共施設の維持管理などのニーズや課題を一緒に解決する「未来創造〝官民連携〟勉強会」（ＰＰＰ／ＰＦＩ勉強会）を7―11月に県内9カ所の地域振興センターで開催した。

行員向けにはＰＰＰ／ＰＦＩの動向や銀行の役割を理解するための勉強会を開催した。「市町村の財務コストの削減や民間企業の事業機会創出をサポートしていく」（総合企画部）構えだ。

情報を活用した営業も強化している。本年4月、内外の情報を一元管理し顧客へ有益な情報を提供する「情報センター」を設置した。今後も「情報」を加工し、提案できる仕組みづくりに力を入れ、顧客ニーズに対応していく。

埼玉縣信用金庫

11月25日、三郷市内に初進出となる「埼玉縣信用金庫三郷支店」がオープン

三郷で新規顧客開拓

埼玉縣信用金庫は2012年度から実施している取引先への「課題把握シート」（14年9月末時点累計5361件）の取り組みで後継者問題や販路拡大、事業再生など個々の企業の問題を把握し課題解決に努めている。

「創業サポートデスク」では県内創業支援やお客さまのライフイベントに応じた「若手経営塾」、「新現役交流会」による支援、「ＡＢＬ」や「クラウドファンディング」など新たな資金調達の枠組みを展開中だ。

11月25日に三郷市内初進出となる「三郷支店」を開店した。環境へ配慮し、高齢者も利用しやすい店舗設計を行っている。「店舗ネットワークの充実を図り、さらなる地域密着型金融の発展を目指す」（経営企画部）。

来年は県内でのビジネスフェア開催を予定。今後も付加価値の高いサービスを提供し、地域経済活性化につなげる。

商工組合中央金庫さいたま支店

海外展開を考える顧客に説明する若手社員

地域活性化支援に力

商工組合中央金庫さいたま支店は、地域に役立つ金融機関として「引き続きセーフティーネット機能の強化と企業の成長戦略、再生支援を後押しする」（今西隆夫さいたま支店長）。

2013年度に立ち上げた「地域活性化支援プログラム」を軸に、埼玉県などと連携して県内の次世代事業、先端産業を育てるとともに、タイやベトナムなど海外進出する県内企業を支援していく。グローバルニッチ企業育成のための「グローバルニッチトップ支援貸付」も実施中だ。10月下旬からＪＲ浦和駅でイメージ広告の掲示を始めた。埼玉県が日本一のおもてなし県を目指して取り組む「埼玉県おもてなしプロジェクト」に賛同し、熊谷支店と2拠点で「埼玉おもてなし宣言」を実施している。「県やさいたま市と連携し、地域に根ざしたお客さまサービスの向上を目指す」（今西支店長）。

川口信用金庫

地域貢献にも力を入れる（少年野球チームを表彰する日下理事長）

幅広い地域貢献・支援

川口信用金庫は、2014年3月に創立90周年を迎えた。地域貢献にも力を入れている。スポーツ振興としては、従来から川口市マラソン大会の協賛をしている。第13回川口市近隣少年軟式野球（川口市少年軟式野球連盟・スポーツ少年団主催）では野球の協賛をした。少年たちの活躍ぶりを収めた写真を東川口支店など6支店のロビーで展示する。9月に実施した「第2回かわしん新現役交流会」では、中小企業30社が参加した。現在、17社と新現役と呼ばれる大企業ＯＢら32人との経営支援に結びついている。

本店の建て替えは16年秋に完成見込みで、地上10階建てで最上階のコンベンションホールは災害時の帰宅困難者を収容できる設備を設ける予定。「金融面だけでなく、幅広い地域貢献や支援をする地域金融機関を目指す」（日下義章理事長）構え。

青木信用金庫

中小企業診断士を投入し実効性ある支援を行う…と今泉理事長

大手ＯＢ人材を紹介

青木信用金庫は、コンサルティング活動に力を入れる。10月に地域振興課を新設し、中小企業診断士を配置した。「各社が抱える課題に対して中小企業診断士を投入し、実効性ある対応を行う。川口市内の税理士会と協働体制で中小企業が抱える課題解決に協力したい」（今泉裕理事長）。

11月18日には「第3回新現役交流会」を開き、中小企業24社が参加。新現役と呼ばれる大企業出身者90人とマッチングを行った。過去2回では現在までに15社、支援率3割強を維持している。「これまで取引のなかった企業もエントリーしていただき、喜んでもらっている」（今泉理事長）。中小企業経営者は相談できる場が少ないので、現場で活躍した大企業ＯＢは頼りになるようだ。

川口市内では増産設備よりも更新設備が増えている状況。引き続き新規開拓を進める。

飯能信用金庫

きめ細かい営業でシェアを取っていく…と町田理事長

地域密着で経営支援

町田知可雄理事長は6月の就任以降、営業エリアにおける顧客訪問を精力的にこなす。域内の経済動向について、「人手不足という課題はあるものの、建築、不動産関連産業は活況を呈している。一方、中小製造業の動向は、活力が今ひとつかも」と印象を語る。

「融資金額より、地域密着のきめ細かい営業で、顧客件数のシェアを取っていこう」と大号令をかける。2013年3月に新設した「経営支援室」は、主に製造業を対象に、国などのものづくり助成金獲得を目指すためのコンサルティングサポートなどを手がける。「同申請件数は初年度75件、今年度は半期で既に59件を手がけた」と上々の滑り出しだ。市内に建設中だった従業員寮付き野球場も8月に完成。「なんといっても健康が一番。従業員向けの福利厚生が第一義だが、地元にも利用していただく」意向だ。

日本政策金融公庫さいたま支店

本部とも連携しシームレスに支援（左から鴫谷農林水産事業統轄、石川支店長兼中小企業事業統轄、丸山国民生活事業統轄）

新しいヒント提供

日本政策金融公庫さいたま支店は、新たな事業の創出・展開などについて、国や埼玉県と共に連携しながら継続して支援する。石川佳孝さいたま支店長は「当公庫・国民事業の創業支援でスタートした企業が成長するにつれ、円滑に中小事業や農林事業でも支援が受けられるよう本部とも連携してシームレスで支援していく」と強調する。

2012年度から13年度にかけて埼玉県内の国民事業・創業融資は1・2倍、中小事業・新事業融資は同1・5倍に伸張。本年度もさらに伸びており、顧客ニーズに対応する。

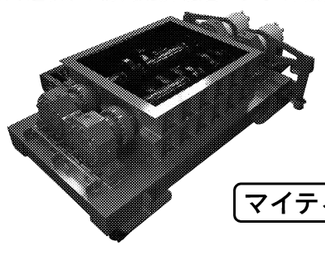
下期は就農支援についても強化する。新規就農と6次産業化への支援を進める。民間金融機関と連携して中小企業を支援する新たな取り組みも実施する。「経営者は常に〝新しい〟を考えている。我々も〝新しい〟のヒントになる情報を提供する」（石川支店長）。

環境装置・廃棄物処理システム

固形燃料（RPF）製造プラント

二軸破砕機

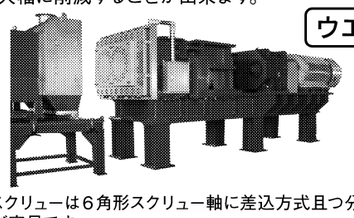
可燃性の粗大ゴミを効率よく粗破砕する装置。
破砕刃付きのカートリッジ式シャフト2本が正転・逆転しながら200ミリ～300ミリ角前後のサイズに効率よく破砕。破砕ローターは低速回転で運転する為、振動、騒音が少なく、設置場所の選定が容易。



マイティクラッシャー

熱圧縮成形機

プラスチックに紙屑、木屑等を混合した可燃性物質を比重1前後のソーセージ型の固形燃料（RPF）にします。保管場所及び運搬コストを大幅に削減することが出来ます。



ウエストポーター

1.スクリューは6角形スクリュー軸に差込方式且つ分割式の為、メンテナンスが容易です。
2.センサー管理の安全タイプ。
3.ノズルを用途に応じてセットし、直径25～150mmの固形燃料（RPF）が出来ます。

大型機械加工・大型製缶品

最新鋭大型CNC五面マシニングセンター、横中ぐりフライス盤にて大型機械加工品及び大型製缶品（最大60トン）請負います！

大型五面加工機
MPC-3680B／東芝機械マシナリー製
門高：3,500㎜　門幅：3,600㎜
テーブル：3,100×8,000㎜
最大積載質量：40,000kg
CNC横中ぐりフライス盤
KBT-15B-A／倉敷機械製
加工高さ：2,300㎜
テーブル：2,000×2,200㎜
最大積載質量：20,000kg

複合加工機
MULTUSB300／オークマ製
最大加工径：φ630×L900㎜
他、NC旋盤（最大加工径：φ950×4000L）、門型マシニングセンター

営業品目（特許多数）

RPF製造プラント、地方自治体及び産業廃棄物関連施設のリサイクルプラント、ビン、缶リサイクルプラント・一軸横型破砕機「ロータリーハンマー」・一軸破砕機「バイトローター」・廃プラスチック回収システム「比重選別機」

優秀経営者顕彰地域社会貢献者賞受賞、埼玉産業人クラブ西海記念賞受賞

●製造・発売元
株式会社 タジリ
TAZIRI
〒369-1108 埼玉県深谷市田中357-1
TEL 048―583―3525(代) FAX 048―583―3527
URL http://www.tajiri.co.jp E-mail info@tajiri.co.jp

ステンレス鋳物

砂型遠心鋳造（堅型）だから単品からでも製造可能

純ニッケル、ニッケル合金、クローム鋳鉄など各種合金も扱っています。

ISO9001:2000認証取得

ロストワックス鋳造

ステンレス鋳物、耐熱鋳物、チタン鋳物
イトコー株式会社
埼玉県川口市元郷3-22-2　TEL 048（224）8401
E-mail：itokoh@titancast.com　FAX 048（224）2070

サンマックスのマックスライトシリーズ
QRL MAX-LIGHT

傘型バルーン投光器
特許取得
■日本■韓国■中国
発明大賞考案功労賞
東京都技術振興功労賞

記念してMMⅡ400HIDを
定価340.000-を定価285.000-！

瞬時再点灯メタルハライド
MMⅡ600QRLもラインアップ

サンマックス株式会社 Son-Max
■工場　埼玉県吉川市川藤２６２２　tel048(981)5329 fax048(982)4011
■本社　東京都足立区西伊興1-18-13　tel03(3853)6863 fax03(3853)6156
URL:http://www.sanmax.co.jp email:info@sanmax.co.jp

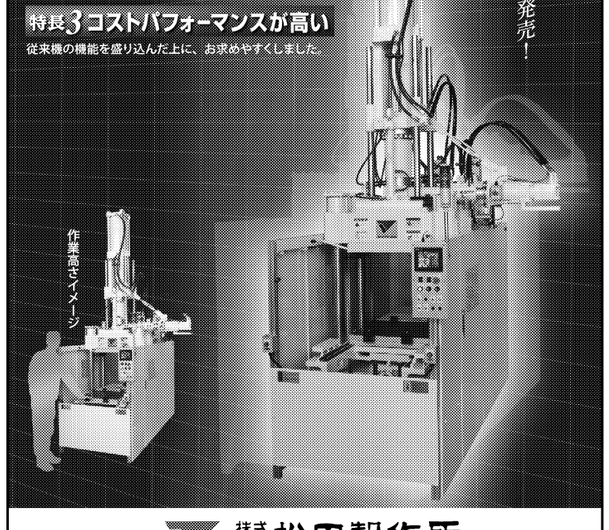
MATSUDA
ゴム用 新製品 射出成形機 XJ series

特長1 低床、省スペース
（当社、従来機比）
①作業高さが185㎜低い（1,052㎜▶867㎜）
※作業台の設置が不要となり、作業性・安全性が著しく向上します。
②全高が380㎜低い（4,567㎜▶4,187㎜）
全幅が325㎜狭い（1,425㎜▶1,100㎜）
※作業場所の省スペース化が図れます。

特長2 省エネ
①インバーターモーターによる回転数制御ポンプを使用していることで消費電力の削減と静音性の大幅向上が図れます。
②高性能断熱板を新たに採用、消費電力削減に貢献します。

特長3 コストパフォーマンスが高い
従来機の機能を盛り込んだ上に、お求めやすくしました。

省エネで地球に優しく
より使いやすくなり、新発売！



株式会社 松田製作所
MATSUDA http://www.mtd.co.jp/ 海外拠点 タイ／中国
本社・工場 〒346-0035 埼玉県久喜市清久町1-1 TEL.0480-22-2111
東京支店 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-18-11東京ロイヤルプラザ9F TEL.03-5577-3020
大阪営業所 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町2-2-16 TEL.06-6155-5444
名古屋営業所 〒485-0045 愛知県小牧市川西1-22 TEL.0568-72-5931